

上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

大船山

第 10 号
令和 4 年 9 月 15 日

ホム・ジ・ア・リ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

気持ちの切り替えの必要性和大切さ

校 長 細江 幸次

雨天が多い中ですが運動会に向けての練習が続いています。その運動会も明後日に本番を迎えます。熱中症対策として、練習は主に午前中の早い時間に行っていることもあり、授業における学習活動にも特に大きな影響はなく、運動会の取組と日常生活の切り替えもうまくできていると感じています。昨年度から大切にしている静けさづくりによる「動と静の切り替え」「メリハリのある生活」が随分浸透している印象を受けます。この気持ちの切り替えがうまくできないと、運動会練習でのしんどりが気になって授業に身が入らないとか、逆にうまくいったことによるうれしさで授業中も必要以上にテンションが高くなって、周りに迷惑をかけるなんてこともありうるのです。その場その場に応じて自分の気持ちをコントロールすることは社会に出て大切な力となってきます。

夏休み中に6年生を対象とした全国学力学習状況調査(4月実施)の結果が出ました。学力については本校のような小規模校においては個々の結果による影響を強く受けるため、学校平均と県や全国の平均を比較することはそれほど大きな意味をもっているとは思いません。個々の結果から自分の得意・不得意を知り、今後の学習に役立てていくことの方が大切だと考えています。

一方、学力向上と生活との相関関係を調べる質問紙調査による学習状況についてはやや心配な点がさらに色濃く出てきたように感じています。それはメディア時間の多さです。参考として以下のデータをご覧ください。

■主な質問紙調査の結果と比較

……○囲みの数値に着目してください。

質 問	1	2	3	4
①毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	本校 30.8	30.8	38.5	0
	岐阜県 41.6	41.3	14.3	2.8
	全国 40.7	40.8	15.0	3.4
②毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	本校 53.8	23.1	23.1	0
	岐阜県 57.2	34.5	6.9	1.3
	全国 56.8	33.6	7.9	1.7
③普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(PC、携帯、スマホ等)をしますか。	本校 30.8	7.7	38.5	23.1
	岐阜県 14.4	12.8	48.3	24.5
	全国 17.2	13.5	45.4	23.9
④普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、スマホ等でSNSや動画視聴などをしますか。	本校 15.4	0	30.8	46.2
	岐阜県 9.0	8.1	31.2	37.1
	全国 10.9	8.8	30.9	35.3

①、②の質問 1：している 2：どちらかといえば、している 3：あまりしていない 4：まったくしていない

③、④の質問 1：4時間以上 2：3時間以上、4時間未満 3：1時間以上、3時間未満 4：全くしない

以前より就寝時刻、起床時刻と学力の相関関係、メディア時間と学力の相関関係はあるといわれています。そのことを頭に起きながら上のデータを見ると、本校児童の就寝時刻や起床時刻が定まっていないこと、メディア時間の多さが岐阜県および全国と比較しても際立っていることがわかります。これは今年度に限ったことではない傾向です。また、SNS、動画視聴に比べ、ゲームにより、そのことが顕著であることもわかります。メディア時間の長さが就寝・起床時間の不安定さにつながっていることがこのデータより見えてきます。そして、メディア時間が長くなるほど、気持ちの切り替えも難しくなってきます。このあたりの生活改善がこれからの上矢作っ子の力をさらに伸ばしていくカギになっていくと私は考えています。ゲームをやること自体ダメなこととは思いませんが、1日の6分の1をそれに費やすのはどうかと感じています。ゲーム脳ということも今話題となっていますが、ご家庭でもこの点について今一度、振り返りをしてみてはいかがでしょうか。

Topic

■夏休み作品展と校内優秀賞の紹介

8月29～31日の3日間、メロディールームにて夏休み作品展として休み中に取り組んだ研究、作品を展示しました。昨年度はコロナ感染拡大のため保護者の方たちにご覧いただくことができませんでしたが、今年度は30名余の方にご覧いただき、子どもたちも張り合いがあっただろうと思います。

今年度の傾向として作品に取り組んだ児童が多く、比較的大型の作品が目につきました。今年度より優秀な研究・作品に校内優秀賞として賞状を準備しました。来年度以降の励みになっていくことを願っています。



←低学年 ↑中学年 高学年→



*優秀研究賞

2年 荻山 朔、中根暖心

*優秀作品賞

1年 川上敬大

2年 長谷川瑠音、矢野硯慎、大島妃那子

3年 伊藤優真、小木曾杏

4年 小林真菜美、松田凌征

5年 熊谷吏加、小林幸永

6年 安藤由真、夏目健士郎



上矢作っ子の活躍

* 第18回 恵那市ジュニア陸上記録会 小学校男子 4年生1000m 第1位 安藤良人

* こどもけいさつ絵画コンクール 入選 4年 荻山七緒

* 岐阜県児童生徒科学作品展恵那市審査会 入選

2年 荻山朔、中根暖心、4年 荻山七緒、中根詩、6年 中根蒼粋

* 恵那市読書感想文コンクール 優秀賞 2年 中根暖心、6年 中根蒼粋

入選 1年 小木曾太一、3年 市岡龍征、4年 中根詩、5年 市岡芳國

* 恵那発明くふう展 恵那市環境対策協議会会長賞 1年 近藤 燿、努力賞 6年 川路結

* えなの木、もりの木、きになる木コンテスト 小学校低学年の部 優秀賞 3年 松下夕祐

■運動会の取組

2学期に入り、ぐずついた天気が多い中、昼休みなどを利用して熱心に練習に取り組む姿が見られます。本校では、昨年度同様、「日常の成果を行事で発揮する、行事で得た自信で日常が高まる」ことを目指し、取組を進めています。



昼休みのキッズ・ソーラン練習

子どもたちのこんな様子につられて、担任も思わず一緒に体を動かす微笑ましい光景も見られました。こんな小さな練習の積み重ねによって、運動会当日に思い通りの演技ができて心から喜ぶことができたり、逆に失敗をして、思わず涙がこぼれたりする感情の大きな揺れが生まれます。「勝ってうれしい、負けて悔しい運動会」は、そういう取組ができた者だけが感じることができるのではないのでしょうか。